

コニカミノルタフィロソフィー

コニカミノルタは、2030年を見据えた

長期での経営ビジョンステートメント「Imaging to the People」を策定しました。

それにともない、2003年のコニカミノルタ発足以来不変の「経営理念」、

2030年を見据えて目指す姿を示した「経営ビジョン」、

そして価値創造の源泉としての企業文化・風土である「6つのバリュー」で構成される

コニカミノルタフィロソフィーの体系を再整理しました。



はじめに

当社は、2030年を見据えた長期の経営ビジョン、2022年をゴールとする中期経営戦略「DX2022」を策定しました。これにともない、当社のフィロソフィーも再整理しました。ウィズコロナ・ポストコロナともいわれる時代に、これからの10年を見据えた新たな経営をスタートさせます。

本報告書では、2019年度を最終年度とする前中期経営計画「SHINKA 2019」の成果・課題の振り返り、そして新たに策定した長期の経営ビジョン、新中期経営戦略「DX2022」を中心に、当社の中長期的な価値創造ストーリー、価値創造戦略をステークホルダーの皆様にはわかりやすくご理解いただけるよう編集しています。また、価値創造を支える基盤として、企業価値向上に向けたコーポレートガバナンス強化に向けた取り組みを報告しています。

本報告書の作成にあたっては、国際統合報告評議会(IIRC)が提唱する「国際統合報告フレームワーク」や、経済産業省が提唱する「価値協創のための総合的開示・対話ガイダンス」なども参照しながら、全社横断的に各部門が協力して編集しています。私は、その作成プロセスおよび記載内容が正当であることを確認しました。

当社は、財務情報と非財務情報を体系的にまとめることで、株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆様には当社をご理解いただくためのコミュニケーションツールとして、この統合報告書を作成してきました。2015年度から統合思考のアンニュアルレポート(2017年からは媒体名を「統合報告書」に改称)を発行しており、今回が6回目の発行となります。今後も統合報告書を対話のツールとして活用し、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

代表執行役社長 兼 CEO
山名 昌衛



目次

コニカミノルタフィロソフィー	1
はじめに	2
目次	3

Chapter 1 コミットメント	4	CEOメッセージ	5
		取締役会議長メッセージ	13
		社外取締役対談	15

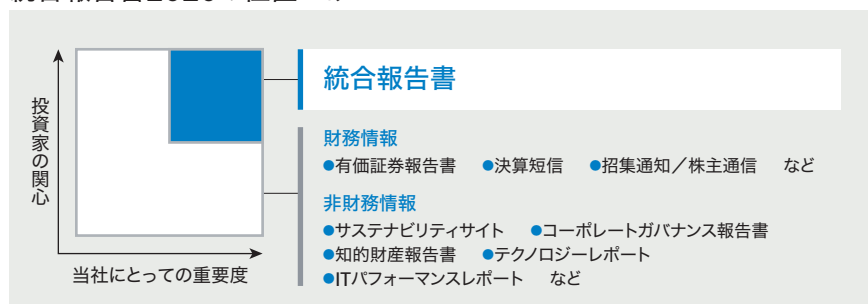
Chapter 2 価値創造ストーリー	17	私たちのDNA	19
		私たちの目指す社会	21
		価値創造プロセス	23
		価値創造の源泉となる無形資産	25
		価値を生み出すビジネスモデル	27

Chapter 3 価値創造戦略	31	中期経営計画の振り返り	33
		新中期経営戦略「DX2022」	35
		財務戦略	39
		顧客接点強化戦略	43
		技術戦略	47
		人財戦略	49
		環境戦略	51
		事業戦略	
		At a Glance	55
		デジタルワークプレイス事業	57
		プロフェッショナルプリント事業	59
		ヘルスケア事業	61
		インダストリー事業	63
		財務・非財務ハイライト	65

Chapter 4 価値創造を支える基盤	69	コーポレートガバナンス	69
		役員一覧	81
		外部評価	84

データセクション		10年間の主要財務データ	85
		財務分析	87
		連結財務諸表	97
		会社概要・株式情報	103
		用語集	104

統合報告書2020の位置づけ



見直しに関する注意事項

この統合報告書に記載されている当社の現在の計画・戦略および将来の業績見通しは、現在入手可能な情報に基づき、当社が現時点で合理的であると判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績はさまざまな要素によりこの統合報告書の内容とは異なる可能性のあることをご承知おきください。